

〈多治見の未来を形づくる新庁舎〉 新庁舎基本構想のための市民委員会コンセプト

新しい市庁舎体制は、これまでの多治見の魅力を継承しつつ、新しい時代に向けて活気と活力に溢れたまちの未来を切り拓くものとしていきます。

新庁舎の基本要件

- (1) 新庁舎南北の接続 新庁舎2階は、南側で南北自由通路の北端と接続し、北側で現駅北庁舎の2階と接続する予定です。駅南から、ペDESTリアンデッキと南北自由通路を経由して、新庁舎と現駅北庁舎までを繋げ、虎渓用水広場も含めた一体的な街並みを形成します。
- (2) 虎渓用水広場との連携 虎渓用水広場を新庁舎の前庭として位置づけ、新庁舎1階と虎渓用水広場を一体のものとして運用し、駅北におけるにぎわいの拠点とします。
- (3) 新しい市庁舎体制における再構成 現本庁舎の移転建替えによる新庁舎と現駅北庁舎を一体のものとして運用します。

新庁舎基本構想のためのコンセプト ⇒ 2つの視点：A 市行政の中核的施設・B まちづくりの中心的拠点から、新庁舎に期待される基本機能を6つ：①～⑥に整理

コンセプトA：市行政の中核的施設

コンセプトB：まちづくりの中心的拠点

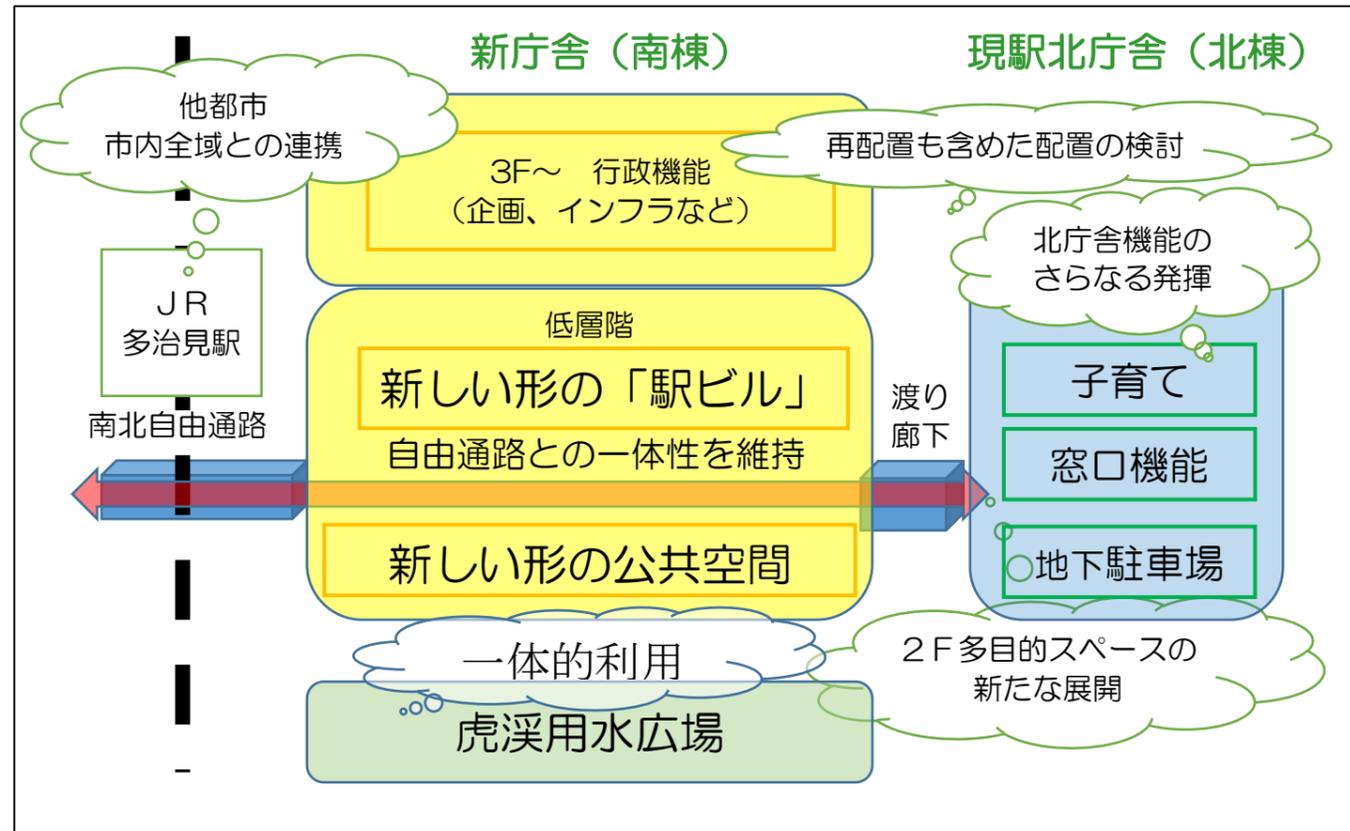
新しい市庁舎体制
南北2棟で実現

[基本機能①]
行政サービスの新しい中心
現駅北庁舎との有機的連携によって構築される新しい市庁舎体制が多治見市行政の中核的施設となります。

[基本機能④]
まちの姿や未来を表すシンボル
駅を起点とした「まちの玄関」として、多治見のまちを象徴する役割を果たしていきます。

[基本機能②]
災害対応の最重要拠点
地震や水害など市民生活を脅かす災害に対し、発災直後から復旧・復興まで地域の最重要拠点として対応していきます。
⇒主に新庁舎高層階で実現

[基本機能③]
多治見の魅力を発信する場
まちの魅力を内外に発信することは、これからの行政の役割の一つです。人口減少などを背景にした都市間競争も踏まえ、幅広く人々や経済活動呼び込む取組を進めます。
⇒主に新庁舎低層階で実現



[基本機能⑤]
市内地域間連携の結節点
多治見駅南北の連携を推進します。また、「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向けた中心拠点の核としての役割を果たしていきます。
⇒新庁舎の立地を活かして実現

[基本機能⑥]
新たなにぎわいの交流拠点
基本機能③④⑤を総動員して、市民ならびに関係人口も巻き込んだ新たなにぎわいを呼び起こすとともに、土日休みでも市民が多様な交流を繰り広げられるような場を創出していきます。
⇒虎渓用水広場も含めて実現